

小松部落の講の三大村祭り(各講の氏神様の祭り)

A: 1月20日 百手祭(ももてまつり・ももてさい)

《百手講の氏神様の祭り》(小松神社:祭神=平重盛)(巖島神社・大元神社)

正月の御弓始めの儀式で、弓で的を射って悪魔・悪病を退治して今年は無病息災・五穀豊穰(豊作)を祈願する祭り。

小松の百手は、現在は豊作祈願の祭りとなっていますが、古くは正月の御弓始めの儀式で、【鬼】の字の的を射って【年の初めから争いごとは無し】の願いが込められた行事でした。平家の落人が、巖島の行事を伝承するこの祭りは、平家の無念を晴らすとともに、士気を鼓舞し平家再興を夢見て受け継がれてきた行事でもあります。しかし今日では、弓の行事はなくなり、他の祭りと同様に、地区の家々が毎年輪番で祭りの世話役にあたり、当番宅に村中(小路単位)寄り合い、祭神(平重盛)と破魔矢を祭り無病息災・豊作を祈願して講の仲間と飲食を共にします。

B: 10月15日 英彦山祭(ひこさんまつり・ひこさんさい)

《英彦山講(別名:権現講)の氏神様の祭り》(英彦山神社:祭神=天忍穗耳命)

実りの秋の稲刈り等の農繁期が終わって、水の恵みの英彦山(水分神)に対して、五穀豊穰(豊作)の秋を祝う祭り。

英彦山から放射状に流れ出る河川は豊前、豊後、筑前、筑後、そして肥前(佐賀)の五国の田畑を潤しています。英彦山は、古くから神霊のこもる山として水分神の信仰を得ており、特に肥前・鍋島藩のあつい信仰とあいまって、村の安全と豊かな暮らしを願って佐賀の人々の参詣が絶えなかったと伝えられています。

【別名】権現講祭(ごんげんこうまつり・ごんげんこうさい)

別名の由来: 英彦山は、中世以降、神の信仰に仏教が習合され、修験道の道場の英彦山権現(ひこさんごんげん)として栄えました。つまり、現在は英彦山神社ですが、以前は英彦山権現、明治初年の神仏分離からは、英彦山神社と言います。このことから、英彦山講のことを権現講とも呼ばれています。

権現(ごんげん)とは神道において、仏が人々を救うために、日本の神の姿になって現われたとする考えです。又はその神のことを言います。つまり祭神の尊称のことです。

英彦山では、天照大神(あまてらすおおみかみ)の子の天忍穗耳命(あまのおしほみみのみこと)が祭神です。

【例】熊野権現、春日権現、東照大権現などがあります。[英彦山権現]も[英彦山の祭神]と同じ意味です。

C: 12月17日 天神祭(てんじんまつり・てんじんさい)

《天神講の氏神様の祭り》(天神社[今は小松に無いので太宰府天満宮]:祭神=天神様[菅原道真])

麦まきが終わった後の1年を締めくくる祭りで、天(雷)の神様である天神様(菅原道真)に対して、五穀豊穰(豊作)を迎えられた年であった事を祝う祭り。また、来年の五穀豊穰(豊作)を祈願する祭り。

天神信仰は、古くは天(山)から降りてきて豊作を約束する素朴な信仰の神でした。後に、菅原道真の天満天神が出てきて、その中に組み込まれて、現在のよう信仰になりました。小松の天神祭は、天神様に対しての収穫感謝のお祭りですが、源平合戦の慰霊祭を兼ねるとも言われています。

【講】の意味

①中世中頃以後、民衆のあいだで作られた仏事や神事を行うための結社。

寺院・神社などを維持したり、集団参詣を行なった。

【例】伊勢講:交代で伊勢参りをするための費用を積み立てる会。

②貯蓄・融資などのための相互扶助団体。

【例】頼母子講(たのもしこう):会員が一定の期日に一定額の掛け金をし、クジや入札によって所定の金額の融通を受け、それが会員全員にいき渡るまで行なうもの。

③僧や信徒が集まって行う各種の仏教儀式。

【例】報恩講(御正忌とも言う):宗祖(親鸞)の命日(忌日)の法事。

【親鸞が亡くなったのは、西暦1262年の11月28日であるが、これは陰暦であって、現在の太陽暦に直すと、1月16日になることから、本願寺派の本山では1月16日を中心に行なっている。

大谷派は、そのまま11月28日を中心に行なっている】

【五穀豊穰】の意味

五穀(穀物)が豊かに実ること。

【五穀】とは人間の主食となる代表的な穀物で、米、麦、粟(あわ)、黍(きび)または稗(ひえ)、豆をいう。

【小松神社の祭り】

①【歳旦祭】:1月1日 新年祈願祭(新年の神事を行う。)

②【祇園祭り】:7月15日 夏祭り(お祇園さん、おかくろさん祭りとも言う)

③【潮取り祭り】:9月12日 秋祭り(弁当を持参してお籠(こも)りを行う。)

④【平家祭り】:11月23日 秋祭り【新嘗祭】(この祭典に平家浮立が小松神社に奉納されていた。)

(平家祭りは、現在9月12日の潮取り祭りの日に神事だけが行われている。平家浮立は、不定期になり県・市・学校等から依頼されるような特別なイベントがあるときだけ催されている。)

【千灯籠(せんとろう)】

小松部落に在住する子供たちの【お地藏さん(薬師如来)・八大龍王さん(八大龍王社)】の祇園祭りです。

お地藏さんが7月末日の土か日曜日、八大龍王さんが8月のお盆過ぎの土か日曜日の頃に行われる夏祭り。